

市民助け合いネット

仲間通信

〔第34号〕

発行

NPO法人

市民助け合いネット

代表 片岡 興一

〒270-0123 流山市若葉台3-131

☎ 04-7153-5733

私たちの仲間

平成29年5月末現在

総数 1,155名

内訳

提供会員 437名

利用会員 718名

「市民助け合いネット」では、去る五月二十日(土)に「平成二十八年度社員総会」を開催しました。

NPOの社員総会は、民間の株主総会に当たるもので表決権を持っている社員が年一回、通常総会を開くことになっています。

総会では、平成二十八年度事業報告と決算報告、平成二十九年度の事業計画と予算計画の各議案とも満場一致で承認されました。また、二年毎の役員改選が審議され、役員候補者全員の再任が承認されました。



平成二十八年度社員総会開催！
誰にも優しい住みやすい町を目指して

平成28年度の助け合い活動の実績

活動区分	実績(件)
・外出支援(自動車の送迎)	3,770
・外出支援(院内介助)	390
・家事支援	1,091
・庭の手入れ	280
・犬の散歩	555
・その他	188
合計	6,274

この一年間を振り返って見ますと私たち市民助け合いネットが創立以来十三年間、取り組んできた高齢者の生活支援、いわゆる助け合い活動を取り巻く環境は、一昨年の改定介護保険制度によって大きく変動しています。

国は介護保険制度の一部を市区町村に委ねたことにより、全国でその仕組みづくりと体制づくりに取り組んでいる最中です。

流山市は、いち早く独自制度づくりに着手し、今年一月から施行しています。当会は、この制度づくりにこの一年、協力をしてまいりましたが制度実現には多くのハードルをクリアしなければなりません。そのハードルの最大のものが「誰がそれを担うのか？」に尽きると思います。いわゆる「地域包括ケアシステム」の一つとして流山市は「住民主体型サービス事業」に取り組む住民組織に対し、補助金でこれを支援することになっていますが、果たしてどれだけの人が、この重要性、必要

平成28年度の貸借対照表

科目	金額(千円)
流動資産	22,602
固定資産	22,404
資産合計	45,006
流動負債	9,164
正味財産	35,842
負債・正味財産合計	45,006

平成28年度・損益計算書

(H28. 4. 1~H29. 3. 31)

科目	金額(千円)
収入	
会費収入	178
事業収入	64,395
寄付金収入	1,008
その他収入	1,219
収入合計	66,800
支出	
事業費	57,063
管理費	5,607
支出合計	62,670
法人税等	3,446
当期税引き後損益	684

新役員紹介

役名	氏名
理事代表	片岡 興一
理事副代表	弘田 娃子
理事副代表	鎌倉 常雄
理事	朝妻 俊和
理事	徳永 基
理事	永塚 治夫
理事	森 光雄
理事	前田 貞光
理事	高田 吉治
理事	新井 麗子
監事	池上 諄一
監事	辰巳 哲

性を認識し住民組織を立ち上げ、継続した活動をする集団に仕立て上げられるか？甚だ実現に大きな壁を感じます。このままでは「仏作って魂入れず」になってしまう恐れがあります。

当会も背景が違うものの「これからの活動を担う仲間づくり」が課題としてあります。ここ数年、サービス提供会員が増えている状況にあり、この課題克服に、地域住民の方と協力・連携することで担い手づくり、仲間づくりの輪を広げて行こうと考えています。

当会の経験、ノウハウと温かい想いが地域の組織づくりに多いに役に立つと自負しています。

今年の社員総会で再任された左表の役員を中心に「誰にも優しい住みやすいまちづくり」に邁進していきます。皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

会員交流会開催のお知らせ

会員交流会を以下の日程で開催します。
記

開催日 平成29年7月1日(土)
時間 午前10時30分～午後1時
場所 ふれあいの家「えがお」
次第 1部: 10:30～11:30(葬儀の説明)
2部: 11:30～13:00(会員交流会)

◎ 参加される方は、6月23日(金)までに事務所にご連絡ください。

◎ 連絡先 ☎ 04-7153-5733 Fax04-7152-5920

平成二十八年度の活動報告

助け合い活動

「助け合い活動」は、六千二百七十四件の生活支援サービスを実施いたしました。これは前年比八%増で高齢者の生活支援要請が増えている実態が利用会員の増加と右肩上がりの依頼件数から見て取れます。

特に車による外出件数が60%を超え、病院をはじめとする外出支援に当会の福祉有償運送サービスは、欠かせない存在になっています。

今後、住民主体型の生活支援サービスが始まります。地域住民の方との連携を深め、高齢者の方が安心して生活が出来るまちづくりを進めなければなりません。

◆地域住民との連携で支援体制強化を図る

介護保険制度は、地域全体で支える仕組みに移行しています。流山市は「住民主体型サービス事業」を制度化し、介護の一部の担い手を住民に委ねる方向に向かっていきます。

助け合い活動の担い手確保が制度実現のポイントになります。当会も年々増えている生活支援要請に添えていくためには、サービス提供会員の確保が欠かせないので、地域と共同して活動の強化を図らなければなりません。

当会の会員数は、高齢化の加速で生活支援を求める利用会員が益々増えています。結果この一年間の入会者は七十九人でした。しかしながら死亡・転居などの退会者が四十四人

ふれあい活動

で純増三十五人となり、年度末の会員数は千五百五十人になりました。

二つの公民館における「ふれあいサロン」は市から指定管理者として指名を受けたときから続けていますが、二十八年度は五万三千二百三人の方に参加いただき、高齢者の生きがいづくりに一役買っています。

また、ふれあいの家「えがお」はオープン以来、二十九年三月末で延べ一万二千四百五十四人の利用がありました。

利用者は口コミによる評判が広がり、地域新聞などで取り上げられた影響もあり増加の一途をたどっています。体力、年齢に合わせた各種体操、幅広いジャンルの音楽イベントや落語、麻雀、趣味の集いなどに加え、障がいや介護で苦労されている方に少しでもお役に立つことが出来ればの思いから立ち上げた「えがお談話室」もすっかり定着しました。



写真は「えがお談話室」のための認知症体験のバーチャルリアリティ学習会の風景

行政からの受託事業

「市民助け合いネット」では「助け合い活動」「元氣シニアづくり」事業の他に、行政と市民との協働化の一環で流山市に協力するとともに、当会の福祉活動を健全かつ、継続させることにつながる次の事業を受託しています。

●公民館の管理運営

当会では、「初石公民館」「南流山センター」の二つの公民館の管理運営業務を指定管理者として担っています。この九年間、市直営では、気づかない部分を市民目線で改善に務め「安心して快適で更に使いやすい」公民館を従事者一丸で取組み、毎年、利用者の方から高い評価を受けています。二十八年度の両館の利用者数は、約二十一万二人でした。

●市民活動推進センターの管理運営

平成二十八年度から市民活動推進センター業務を継続受託し、市民活動を「生み」「育てる」ための各種の教育・支援活動を行っています。

今年度から仲間づくりの新しいテーマである子育て、高齢者支援の団体づくりに注力しています。

平成二十八年度は、延べ二千二百十三団体二万六千人を超える市民の研修交流の場を提供しました。

●高齢者外出支援

流山市の福祉政策に協力して市内の生活困窮者の方、外出が困難な方などに対して自動車での外出を支援する、福祉有償運送サービスを提供会員の皆さんの協力を得て展開しています。平成二十八年度は延べ三千七百六十一人の方を支援しました。

●交通安全教室の開催

市内の保育・幼稚園児と小学校延べ三千百五十八人に対して「道路の正しい歩き方・横断道路の渡り方」や「自転車の正しい乗り方」などを指導する「交通安全教室」を開催しました。最近、不審者による事故・事件が多発しているため、不審者対応を指導に加えて「安心・安全」の町づくりに努めています。

文化祭のご案内と出展作品募集！

来る10月21日(土) 10:00~16:00

10月22日(日) 10:00~15:00

ふれあいの家「えがお」に於いて文化祭を開催いたします。

お誘いあわせの上、是非お越しください。

◎入 場 料：無 料

.....● 出展作品募集要領 ●.....

◎ 開催に当たって、広く出展作品を募集いたします。作品の募集要領は、次の通りです。

- ◆ 対象者 市民助け合いネット会員と「えがお」利用者
- ◆ 募集作品の内容：絵画（油絵、水彩画、水墨画）
写真、絵手紙、書道、陶芸、手芸など
- ◆ 出品料金：500円/人
- ◆ 申込み締め切り：8月16日（水）
- ◆ 出展希望者は市民助け合いネットに連絡ください。

☎ 04-7153-5733

※詳細については担当から折り返し連絡いたします。

事務所からのお知らせ

●助け合い活動

1. お盆休み(8月11日~15日)事務所は休みます。
2. 真夏の草刈り、剪定の依頼は、避けてください。
3. 草刈り、剪定のできる方、ご一報ください。
4. 生活支援サービスの利用は、早めに事務所に電話、Faxをお願いします。
5. 利用券は余裕をもって早めに購入ください。
6. 依頼は事務所を通してください。
(提供者、利用者間でのやり取りはしないでください)